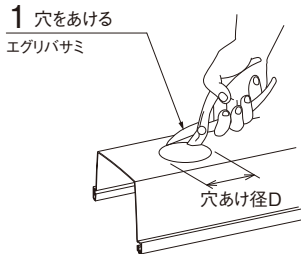


施工手順

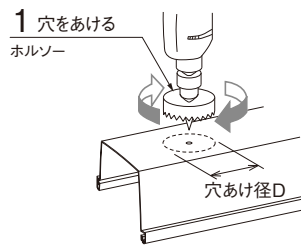
自在ドレン(高排水用)の取り付け

- 1 軒とい、谷コイルのドレンを取り付ける位置にエグリバサミまたはホルソーで穴をあける。
穴あけ径は下表の通りとしてください。

【エグリバサミの場合】

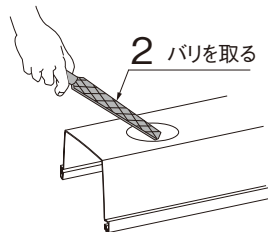


【ホルソーの場合】



自在ドレン サイズ	穴あけ径D
VP・VU75用	φ97mm
VP100用	φ124mm
VP125用	φ151mm

- 2 加工部分のバリをきれいに取り、隙間が出ないようにする。
(水漏れ防止のため)

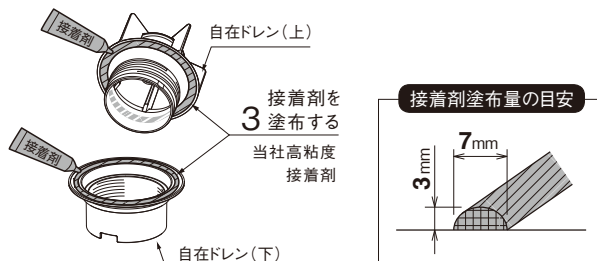


お願い

バリで隙間があくと水漏れのおそれがあります。

【大型雨といエアロアイアンに使用する場合】

- 3 自在ドレン(上)のツバの裏側と自在ドレン(下)の接続面に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社高粘度接着剤KQ8815)

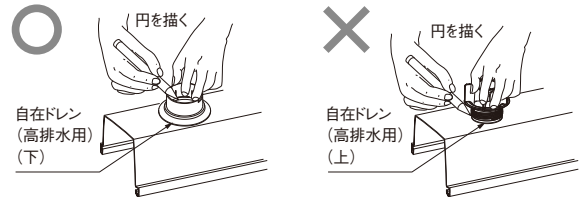


お願い

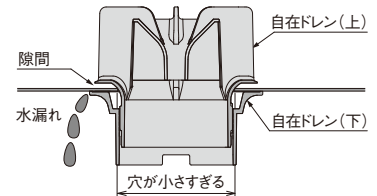
当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。当社品でも、塗布量が多すぎると変形、割れが発生することがあります。

ポイント

- 円を描くときは、コンパスの他に、自在ドレン(下)の内側やDV継手の接合部外径を使用することができます。ドレン(上)を使用して描くと穴が小さく嵌りませんのでご注意ください。



- 穴が小さすぎる場合、ドレンが浮いて隙間があくため水漏れのおそれがあります。穴あけ後、一度ドレンを締め込んで隙間ができないか確認してください。



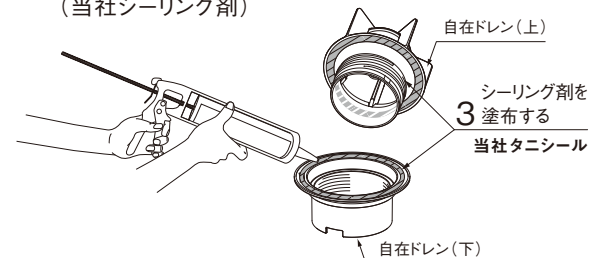
- 自在ドレンのツバの外径に対して軒とい底幅に余裕がない場合は、軒といの中央に穴をあけてください。中央からずれると、自在ドレン(上)のツバと軒といに隙間があくため、水漏れのおそれがあります。

【谷コイルに使用する場合】

- 2-2 穴の切断面はバリをきれいに取った後、補修液を塗布して防食処理をする。



- 3 自在ドレン(上)のツバの裏側と自在ドレン(下)の接続面にタニシールを全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社シーリング剤)



注意

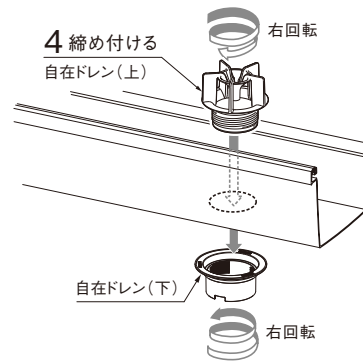


谷コイルのシール面には、必ず専用の「タニシール」を使用する

市販のシーリング剤は密着しにくく、水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

4 自在ドレン(上)と自在ドレン(下)で排水口の穴をはさみ、ドレンを充分締め付ける。

※自在ドレン(高排水用)とエルボなどのカン合部は、高排水時の圧力に対応する設計にしているため、カン合が固い場合があります。

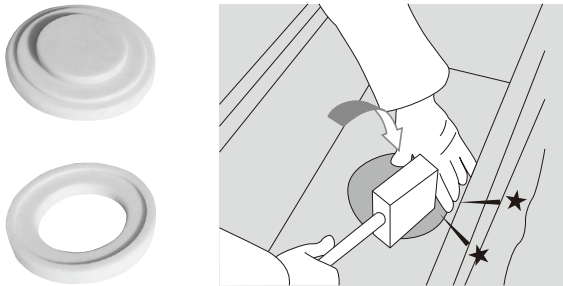


【ご参考：ドレン^{ボコ}凹ター】

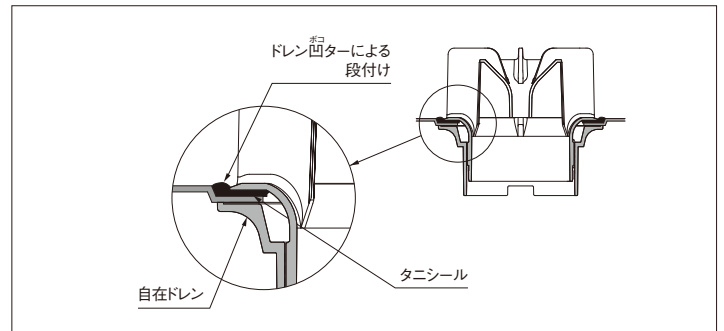
当社では、谷コイル専用の段付け加工治具、「ドレン^{ボコ}凹ター」を特注で製作しています。自在ドレン落とし口の外周に段付けすることで谷コイルの底面と自在ドレンのツバが同じ高さになるため、水の流れがスムーズになり、自在ドレンの周囲に残り水、ごみ、泥などがたまりにくくなります。

※大型雨といエアロアイアンやレザードコイルにはご使用いただけません。

ドレン^{ボコ}凹ターによる段付け方法



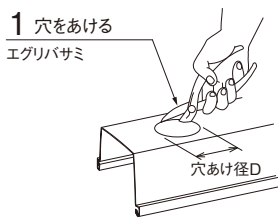
施工手順1の穴あけ加工の後、ドレン^{ボコ}凹ターで落とし口穴の外周に段付けて木づちでたたきます。その後は施工手順2~4と同じです。



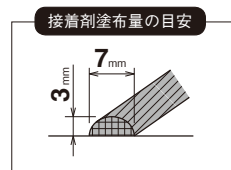
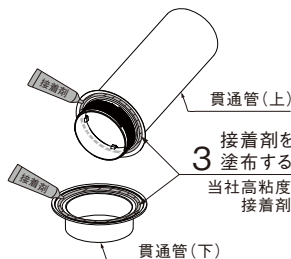
※詳細は、ケイミュー(株)営業所までお問い合わせください。

貫通管の施工

■自在ドレン(高排水用)の施工手順 P.27と同様の手順で作業を行ってください。



貫通管サイズ	穴あけ径 D
VP・VU75用	φ116mm
VP100用	φ129mm
VP125用	φ166mm

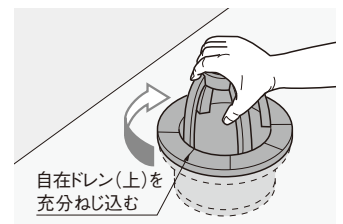


お願い

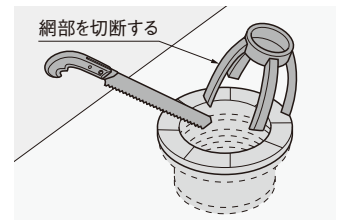
- 当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。
- 谷コイルに施工する場合は、必ず専用の「タニシール」を使用してください。

庇軒といにたてといを挿入する手順

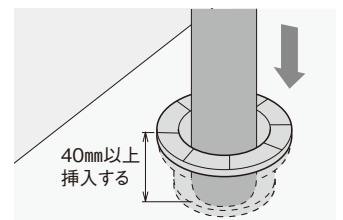
1 従来通り自在ドレンを施工する。



2 ニッパー、のこぎりなどで自在ドレンの網部を切断する。



3 自在ドレンの中にたてといを40mm以上挿入し、たてとい上部を接続する。

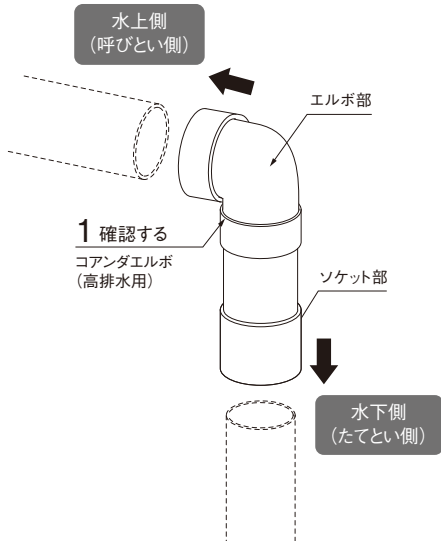


施工手順

コアンダエルボ(高排水用)の取り付け

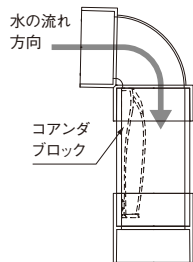
■コアンダエルボ(高排水用)は呼びといを使う場合に使用します。

1 コアンダエルボ(高排水用)の取り付け方向を確認する。



ポイント

コアンダエルボの中にコアンダ効果を利用する部材が取り付けられており、正しい方向で水を流すことによって効果を発揮します。

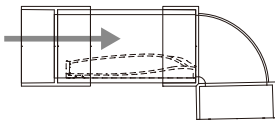


お願い

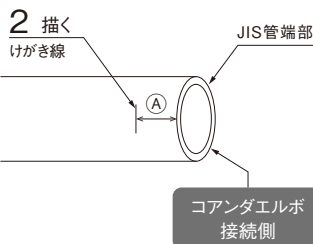
排水性能確保のため、正しい方向を守って取り付けてください。



水の流れ方向



2 呼びとい、たてといに、けがき線(差し込み確認用)を描く。



端部からけがき線までの長さ(目安)

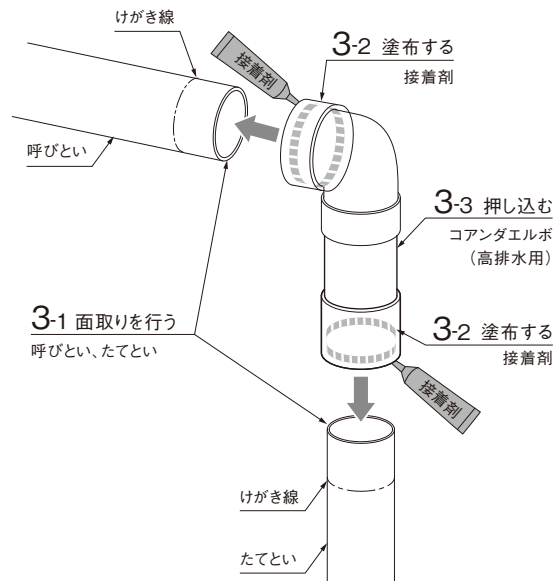
配置径	A
VP・VU75	40mm
VP100	50mm
VP125	65mm

3 コアンダエルボ(高排水用)を取り付ける。

3-1 呼びとい、たてといの取り付け部の面取りを行う。

3-2 エルボ部の内側、たてといに接着剤を切れ目なく塗布する。

3-3 コアンダエルボ(高排水用)をけがき線まで差し込む。



ポイント

呼びとい、たてといの取り付け部の外周にC3(一辺3mm・斜め45°)程度の面取りを行うと、JIS管の挿入が行いやすくなります。

お願い

コアンダエルボ(高排水用)は、JIS管のけがき線まで確実に差し込んでください。奥まで差し込めていない場合、性能が低下するおそれがあります。

■施工完了時のイメージ

